

ビル管理隊の部A操作要領（令和8年度）				
実施項目	指揮者	1番員	2番員	備考
事前準備				
資器材準備	① 受付でプラカードを受領、ビブスは、次隊待機位置で係員から4名分(防火管理者分も含む)を受領し、着装する。 ② 次隊待機位置にいる次の実施隊は、係員の指示により、指定された屋内消火栓に自己隊のホース・筒先を準備する。 ③ 指揮者と1番員は、待機位置で係員からトランシーバー(以下「無線」という。)を各自受領し、装着する。 ④ 自己隊のプラカードをプラカード設置場所★ ⁰ に立てる。 ⑤ 待機位置(机)★ ¹ に指揮者、1番員及び2番員の各ヘルメットと手袋を設定する。 ⑥ 全員の準備(服装含む)が完了したら、 <u>整列位置★²</u> で自主整頓し、指揮者の「 整列休め 」の号令で待機する。			※ビブスは、自己隊で用意したものを使用可能とします。自己隊のものをを使用する場合は、次隊待機位置に来る前に装着しておいてください。
審査開始				
人員確認 待機位置に移動	(紹介アナウンス後) 整列位置★ ² から列を外れ、整列している1・2番員の前に移動し、指揮者が気をつけの状態から、1・2番員に対し、「 気をつけ 」、「 番号 」の号令をかける。 「 待機位置につけ 」と下命し、待機位置★ ¹ に移動する。	指揮者の号令まで、事務室前の整列位置★ ² に 整列休めの姿勢で待機する。 指揮者の「気をつけ」の号令で「気をつけ」をし、「番号」の号令により1・2番員が順番に「 1 」、「 2 」と呼称する。 指揮者の「待機位置につけ」の下命後、「 よし 」と呼称し、待機位置★ ¹ に移動し、椅子に着席する。		※整列位置に整列後、本部テントより、出場隊の紹介アナウンスが流れます。
開始報告	指揮者は隊員全員が着席し、準備が完了した時点で、 着席したまま「準備よし 」と呼称する。係員が赤旗を揚げたら、指揮者は起立・拳手して、「 〇〇自衛消防隊準備完了 」と報告し、着席する。	着席のまま待機		※指揮者の「 準備よし 」と呼称後、係員が赤旗を揚げます。
地震発生				
地震発生	緊急地震速報が流れたら、指揮者が起立後、1・2番員も起立し、「 地震発生、身の安全を図れ。 」と1・2番員に対して下命し、指揮者自身も机の下にもぐり、身の安全を図る。 係員の「地震が収まりました。」の合図で、その場に立ち上がり、1・2番員が立ち上がるのを目視したら、「 異常はないか？ 」と確認する。 2番員の報告後に、「 余震に備えて、ヘルメットを着装せよ。 」と下命する。 「 ヘルメット着装 」と呼称し、ヘルメットを被ったら「 ヘルメットよし 」と呼称後、隊員の着装を確認して着席する。	緊急地震速報が流れたら、指揮者が起立後、1・2番員も起立し、指揮者の「地震発生、身の安全を図れ。」の下命後、「 よし 」と呼称し、机の下にもぐり、身の安全を図る。 係員の「地震が収まりました。」の合図で、その場に立ち上がる。 指揮者の呼び掛けに対し、「 1番員異常なし 」、「 2番員異常なし 」と報告する。 指揮者の下命に対して、「 よし 」と呼称する。 「 ヘルメット着装 」と呼称し、ヘルメットを被ったら「 ヘルメットよし 」と呼称後着席する。		※ 緊急地震速報の後に地震の擬音が流れます。 全隊員が机の下で身を守る態勢がとれたことを確認できたら、係員が「 地震が収まりました。 」と合図します。 ※指揮者又は1・2番員の号令・下命に対する応答呼称の「よし」は、「よし」又は「 了解 」のどちらでも可とします。(以下共通)
火災発生（自衛消防隊 初期活動開始）				
自火報発報 受信盤確認 現場確認指示	ベル鳴動後、起立し「 自火報[※]発報 」と呼称、自火報受信盤★ ³ の前へ移動し、受信盤の表示を確認しながら「 5階発報 」と指差し呼称をする。 その後、1・2番員に向きを変え、「 1・2番員は5階へ向かい、現場確認にあたれ 」と下命する。	ベルが鳴動し、指揮者が起立し「自火報発報」と呼称したら、「 自火報[※]発報 」と呼称しながら起立し、自火報受信盤★ ³ の前へ移動する。 指揮者の「5階発報」の後、1・2番員同時に、「 5階発報 」と 指差し呼称 をする。 指揮者に対し、「 よし 」と呼称する。		※指揮者の「 自火報発報 」の呼称から 全体タイムの測定開始) 注 自火報＝自動火災報知設備 ※全隊員がヘルメットを装着して着席後、係員がベルを鳴動します。
手袋着装	1・2番員が「よし」と呼称後、待機位置★ ¹ に移動し、「 手袋着装 」と呼称し、手袋を着装したら「 手袋よし 」と各自呼称する。			※着装は立った状態で行います。
防災センター内 現場図け付け準備 非常放送① (確認)	手袋着装後、自火報受信盤に戻り、放送設備★ ⁴ を操作し、放送を行う。 「 こちらは防災センターです。ただいま5階で自動火災報知設備が作動しました。現在確認中ですので、次の放送をお待ちください。5階の自衛消防隊は、確認を行い、防災センターに報告してください。 」と2回放送をする。	手袋着装後、携行品の確認をする。「 非常用エレベーターキーよし 」と呼称しながら持っている箇所(ポケット等)指触確認し、「 消火器よし 」と指差し呼称する。 各自(1・2番員)が消火器を持ったら「 準備よし 」と呼称し、現場に向かう。	手袋着装後、携行品の確認をする。「 マスターキーよし 」、「 消防用設備の鍵よし 」と呼称しながら持っている箇所(ポケット等)を指触確認し、「 消火器よし 」と指差し呼称する。	※非常用エレベーターキー等の携行は仮想とします。 ※★ ¹⁷ 赤線(活動範囲ライン)以降を火点活動ゾーンとします。
地区隊からの引継ぎ 現場確認		搬送した消火器を停止位置★ ⁶ に搬送する。 火点室手前で地区隊長(係員)が登場し、状況報告位置★ ⁵ で正対する。 ①地区隊長(係員)に、「 交代します。状況を報告してください。 」と下命し、地区隊長から報告を受ける。 ③地区隊長(係員)の報告に対し、「 了解、地区隊にあっては避難誘導にあたれ。 」と下命する。 2.2番員と正対し、2番員に「 状況報告せよ 」と下命する。 4.2番員から「 白煙確認、内部延焼中 」の報告を受け、2番員と正対し、「 了解、消火器で消火せよ。 」と下命する。	搬送した消火器を停止位置★ ⁶ に搬送する。 火点室入口(放水開始位置)★ ¹⁰ のドアに表示されている白煙を確認し、「 白煙確認 」と指差し呼称する。 呼称後、両手で火点室入口ドアを15cm程 <u>ゆっくりと開け室内を確認し、「内部延焼中」</u> と呼称する。 内部確認後、ドアをすぐに閉める。 1.1番員と状況報告位置★ ⁵ で正対する。 3. 「白煙確認、内部延焼中」 と報告する。 5.1番員の下命に対し、「 よし 」と呼称する。	※火点室入口ドアは、「外開き」です。 ②地区隊長(係員)は、 「5階更衣室延焼中、初期消火・119番通報は未実施です。」 と1番員に報告します。 ④1番員の報告に対し、地区隊長(係員)は「 よし 」と呼称します。

実 施 項 目	指 揮 者	1 番 員	2 番 員	備 考
防災センターへ 状況報告 119番通報 初期消火	②無線で1番員に「 どうぞ 」と呼称する。 ④「 了解、こちらで119番通報をする。どうぞ。 」と呼称する。 待機位置★ ¹ の電話機で119番を押す。 「消防庁、火事ですか、救急ですか。」 「 火事です。 」 「消防車の向かう住所を教えてください。」 「 港区〇町〇丁目〇番〇号の〇〇ビルです。 」 (※自隊の建物住所と建物名を通報すること。) 「何階の何が燃えていますか。」 「 5階の更衣室が燃えています。 」 「逃げ遅れやけが人はいますか。」 「 現在確認中です。 」 「わかりました。消防隊ただちに向かいます。」 「 お願いします。 」 通報を終了し、受話器を置く。	①無線で「 1番員から指揮者 」と呼び出す。 ③指揮者の「どうぞ」の呼称後、 「5階更衣室延焼中、地区隊による初期消火・119番通報は未実施。これより初期消火にあたる。どうぞ。」 と報告する。 ⑤指揮者の呼称に対し、「 了解 」と呼称する。 報告後、火点室入口★ ¹⁰ に移動し、両手でドアノブを持ち、「 ドア開放 」と呼称しながら姿勢を低くしてゆっくりと火点室入口ドアを開放する。 2番員の初期消火を監視する。	消火器を持って、「 安全ピンよし 」、「 ホースよし 」、「 準備よし 」と動作・呼称しながら、火点室入口★ ¹⁰ に移動する。 1番員の「 ドア開放 」の合図により、火点室入口(放水開始位置)★ ¹⁰ で「 放射 」と呼称し、消火器標的★ ⁷ に向けて姿勢を低くして、消火器の放射を開始する。 消火器を放射しながら、「 進入 」の呼称後、1.5m先の消火器進入位置★ ^{10a} まで内部進入し、「 火事です。誰かいますか、避難してください。 」と声をかけながら初期消火を実施する。 係員から「 消火不能 」の合図で、「 消火不能 」と復唱し、「 退路確認、退路よし 」と呼称し、退路を確認しながら退出し、ドアを閉鎖する。	※1・2番員で搬送した消火器は2本のうち1本のみ使用します。使用しない消火器は係員が撤収します。 ドア開放後は、係員がドアの保持を交代します。 ※小区画で燃え広がっていないため、左右に揺らさず、真つすぐ放水してください。 ※火点室付近で活動する際は、姿勢を低くして対応する時に手や膝は地面につかないでください。 ※消火器の放射は、係員が15秒計測後、「 消火不能 」と合図するまで放射し続けてください。 ※退路を確認しながら火点室を退出する際は、火点に背を向けないでください。 ※係員は、「 消防庁、火事です か？救急ですか？ 」から「 わかりました。消防隊ただちに向かいます。 」まで応答してください。
非常放送② (断定)	放送設備を操作して、 「 こちらは防災センターです。ただいま5階で火災が発生しました。5階と6階の方は自衛消防隊の指示に従い避難してください。エレベーターは使用しないでください。その他の階の方は次の放送があるまで、お待ちください。 」と2回放送する。 ⑥無線で1番員に「 どうぞ 」と呼称する。 ⑧1番員の報告に対して、「 了解、屋内消火栓に移行せよ 」と下命する。	②状況報告位置★ ⁵ で2番員と正対し、「 状況報告せよ 」と下命する。 ④2番員の報告に対し、「 了解 」と呼称する。 ⑤無線で「 1番員から指揮者 」と呼び出す。 ⑦指揮者応答後、「 消火器による消火不能。逃げ遅れ・けが人なし。どうぞ。 」と報告する。	①退出後、状況報告位置★ ⁵ で1番員と正対する。 ③1番員の「状況報告せよ」で、「 消火器による消火不能、逃げ遅れ・けが人なし。 」と報告する。	
屋 内 消 火 栓 の 操 作				
操作開始	防災センター要員(係員)に対し、「 消防用設備等を監視し、消防隊到着後案内せよ。 」と下命し、防災センター要員の「よし」の呼称後、屋内消火栓の監視位置★ ⁹ に移動し、1・2番員の操作状況を気をつけの姿勢で監視する。 (※監視位置はホース延長に支障のない任意の位置とし、消火栓から概ね 2.5m以内の位置とする。)	①指揮者の下命に対し「 了解 」と呼称し、2番員に対し、「 ただいまから屋内消火栓に移行する。操作始め。※ 」と下命し、屋内消火栓★ ⁸ に向かって走る。	②1番員の下命に対し、「 よし 」と呼称し、1号屋内消火栓★ ⁸ に向かって走る。	※1 番員の「 ～操作始め。 」の「 め 」から 消火栓タイムの測定が開始します。 ※防災センター要員(係員)は、指揮者から「消防用設備等を監視し、消防隊到着後案内せよ。」と下命されたら、「 よし 」と呼称する。
消火栓の起動 ホース取り出し		2番員が消火栓扉開放後、ホースの4折を残し、「 ホース取り出し 」と呼称、筒先とホースを取り出し、筒先が下になるように右脇に抱え「 よし 」と呼称する。	消火栓の前に到着後、起動ボタンを押し、「 起動ボタンよし。扉開放。 」と呼称し、消火栓扉を開放する。 1番員のホースの取出しを待って、2番員は、残りのホースを取り出す。2番員は、ホースの内側に入り余裕ホースを腰に取り、1番員の「よし」の呼称後、確保姿勢をとり、「 確保よし 」と呼称する。	
ホース延長	1番員がホースを抱え、2番員の「確保よし」の呼称を確認後、火点室入口(放水開始位置)★ ¹⁰ 手前の停止位置★ ⁶ へ先行する。	2番員の「確保よし」の応答で「 ホース延長 」と呼称し、火点室にホースを延長する。	確保姿勢を継続し、1番員の「放水はじめ」の呼称まで待機する。	※屋内消火栓の操作時は、駆け足になることから転倒に注意してください。
放水開始 ホース点検	①火点室入口(放水開始位置)★ ¹⁰ 手前の停止位置★ ⁶ で、1番員に対し「 止まれ 」と停止位置を指差し呼称する。 その後、1番員に対し、「 放水はじめ 」と下命する。 ④筒先まで水が載ったのを確認し、火点室入口のドアノブを手に取り、「 ドア開放 」と呼称しながらゆっくりと両手でドアを開放する。	②停止位置★ ⁶ で、指揮者の示す(白線と白線の間)で停止し、指揮者の「放水はじめ」の下命により、2番員に対し「 放水はじめ 」と呼称し、右手を垂直に挙げる。 ⑤指揮者がドアを開放したら、火点室入口(放水開始位置)★ ¹⁰ に移動し、筒先ノズルを開放する。 放水が開始されたら、屋内消火栓標的★ ¹² に放水し、標的を倒す。	③1番員が「放水はじめ」の下命後、確保姿勢を解除し、右手を垂直にあげて「 放水はじめ 」と復唱、「 バルブ開放 」と呼称して開閉バルブを両手で全開し、「 バルブ全開よし 」と指差し呼称する。 ⑥バルブ全開後、延長ホースを点検しながら前進し、結合部の前で停止し、いたりの姿勢で「 ホース・結合部よし 」と指差し呼称をする。 ※点検時にホース、結合部に漏水がある場合は、「 漏水あり 」と指差し呼称する。(漏水の処置は不要)	※指揮者は、火点室のドアをゆっくり開放してください。 係員は、漏水を発見したら、漏水バンドを巻くなど、処置を実施してください。 ※ <u>いたりの姿勢</u> 基本の姿勢から一步踏み出した状態

実施項目	指揮者	1番員	2番員	備考
放水と放水補助	火点室に放水が開始されたことを確認し、1・2番員の操作状況を監視する。 標的が倒れ、2番員が確保し、1・2番員が室内に進入したら、指揮者は火点室内の適宜安全な位置に移動して操作を監視する。 (※指揮者は1番員より前には出ないこと。)	②標的が倒れ、2番員がホースを確保して「確保よし」と呼称したら、「よし」と応答し、「進入」と呼称、すり足で火点室内の屋内消火栓進入位置★¹¹まで進入する。	①1番員の放水操作のホース補助をし、「確保よし」と呼称する。 ③1番員の「進入」で、火点室内に「進入」と呼称し、ホースを確保しながらすり足で進入する。 ※放水補助の姿勢:延長ホースの右側(1番員の右足後方1歩:約 0.7m)の位置で延長ホース側の左足を一步後方に引き、ホースを持ち上げ、左腰に添えたまま前傾姿勢をとる。	※消火栓の標的が倒れた時点で、消火栓タイムの測定終了。 ※指揮者が火点室内に進入時、係員がドアの保持を交代します。
放水停止	①係員の「放水止め」の合図で、1・2番員に対し「消火栓、放水止め。」と下命する。 ③1・2番員の「放水止め」の呼称後、「2番員は消火栓バルブを閉鎖し、スプリンクラー制御弁を閉鎖せよ。」と下命する。	②指揮者の「消火栓、放水止め。」の下命に対し、1・2番員は「消火栓、放水止め」と呼称する。 1番員は、筒先ノズルを閉鎖する。 ④2番員は指揮者の下命に対し、「よし」と呼称する。		※指揮者が火点室内の監視位置に着いたら、係員が「放水止め」と合図します。
		放水が停止し、2番員の「消火栓よし」を受けて「よし」と呼称する。	ホース確保を解き、延長ホースに注意しながら屋内消火栓★⁸に駆け足で移動し、開閉バルブの閉鎖動作を行い「バルブ閉鎖」、「バルブ閉鎖よし」、起動ボタンを元に戻し、「起動ボタンよし」とそれぞれ指差し呼称をする。 その場で火点方向を向いて基本の姿勢をとり「消火栓よし」と呼称する。	※係員は、2番員の「消火栓よし」の呼称で、結合を離脱してください。
残水処理		消火栓バルブが閉鎖されたら、「ノズル開放」と呼称しながら筒先ノズルを少し開放して「ノズル開放よし」と呼称する。 残水を排水時に「ノズル閉鎖」と呼称し、排水後ノズル閉鎖時に「ノズル閉鎖よし」と呼称する。 筒先の残水を排水した後、筒先の先端を右手で持ち、左足を引きつけて姿勢を正す。		
区画形成	1番員の残水処理後、係員の「収め」の合図で「消火栓収め」を下命する。	指揮者の下命後、「消火栓収め」と2番員に呼称する。	消火栓の位置で、1番員の呼称に「消火栓収め」と復唱する。	※1番員が筒先内残水処理後、基本の姿勢をとったら、係員から「収め」と合図します。
スプリンクラー制御弁閉鎖	1番員のホースを補助し、1番員とともにホースをドア入口まで引き出し、ドアを閉鎖し「ドア閉鎖、区画形成よし」と呼称する。	ホースを指揮者とともにドア入口まで引き出し、筒先をホースの上に載せ地面に置く。	スプリンクラー制御弁へ移動、スプリンクラー制御弁★¹³に正対し、「スプリンクラー制御弁閉鎖」と呼称後、スプリンクラー制御弁を仮想で閉鎖、「制御弁閉鎖よし」と指差し呼称をする。	
終了位置に移動	区画形成後、1番員と駆け足で終了報告の指揮者終了位置★¹⁵に移動する。	筒先を地面に置いたら、指揮者と駆け足で隊員終了位置★¹⁴に移動する。	指揮者と1番員が戻ってきたら、駆け足で隊員終了位置★¹⁴に移動する。	
点 検 報 告 ・ 活 動 報 告				
点検報告	指揮者終了位置★¹⁵に整列後、隊員が整列した時点で「点検報告」と下命し、1・2番員からの異常の有無の報告にそれぞれ「よし」と答える。	隊員終了位置★¹⁴に整列後、指揮者の「点検報告」の号令により指揮者に対し「1番員異常なし」と報告する。	隊員終了位置★¹⁴に整列後、1番員の報告に続いて、「2番員異常なし」と報告する。 ※ホースからの漏水があった場合は、「漏水あり」と報告する。	※点検報告時の小角度の方向変換については、任意とします。
防火管理者への活動報告	1・2番員からの点検報告後、指揮者は回れ右をして防火管理者等に向き直り、挙手敬礼後、「5階更衣室から出火、地区隊から引き継ぎ消火器、屋内消火栓を活用し消火完了。逃げ遅れ・けが人なし。区画形成完了。」と報告し、挙手敬礼を行う。	1・2番員は、そのままの位置で待機する。 指揮者の挙手敬礼に対しては答礼し、活動報告を受ける。		※防火管理者は、指揮者と隊員が終了位置★ ^{14,15} に戻った時点で、コース外直近から防火管理者位置★ ¹⁶ に移動し、指揮者の挙手敬礼に答礼し、活動報告を受けてください。
退 場	防火管理者の答礼後、回れ右をして隊員側に向き「わかれ」と号令する。 1・2番員の敬礼に答礼し、駆け足でコース外に退場する。	指揮者の「わかれ」の号令で挙手敬礼し、駆け足でコース外に退場する。		※防火管理者はヘルメットを着装してください。
資器材返却・撤収	※防火管理者が不在の場合は、訓練指導者等が代行してください。			
	※コース外に退場する前に、速やかにビブス、トランシーバーを係員に返却し、使用したホースとプラカードを撤収してください。			
	※プラカードは、閉会式終了後、お帰りの際に受付にお返しいただきますので、各隊で退場後も管理してください。			